

◎ 春のシンポジウム

4月26日(土)

於:あざれあ 502 会議室

非正規雇用と労働運動 – 若年労働者の主体と抵抗

報告者: 伊藤大一 氏 (大阪経済大学 准教授)

●徳島の請負労働者組合のたたかい

徳島の請負労働者組合 (JMIU 光洋シーリングテクノ関連支部) は、2004年に結成されました。当時、偽装請負の下で働き、労働強化が提案された時、非人間的な取り扱いに怒った労働者が、JMIUの本工組合に相談したのがきっかけでした。

彼らが作っているのは、トヨタに納める自動車のピストンシールです。トヨタ生産方式は従来の複数社発注から一社発注となり、彼らがストライキを行うと、トヨタの自動車ラインが全面的に止まってしまう関係にありました。彼らは会社に対する怒りのエネルギーを持っており、それに労働運動という解決方向を示したのが既存の労働組合 (JMIU) でした。

彼らは地元出身の若者たちで、学校の先輩や友人とのネットワークを作っており、遊びや仕事の紹介、異性との出会いなどでつながっていました。また多くの若者は「反学校文化」や「ヤンキー文化」の担い手でした。彼らは2006年に請負労働者から直接雇用の期間工となり、2007年には2度にわたる24時間ストライキを決行して、一部組合員の正社員化を獲得し、2012年に全組合員の正社員化を実現しました。

【現場からの報告】

●「河合楽器における非正規労働者の実態と要求・組織化の課題」

石川明 氏 (JMIU 河合連合支部 元委員長)

(株)河合楽器製作所は、正社員1700人、パート・再雇用などの非正規労働者は500人です。この他に音楽・体育教室講師7000人が委任契約で働いています。パートは時給850円程度、再雇用者

は月額18万円程度です。春闘アンケートでは、パートは一時金、再雇用者は退職金の要望が多くありました。

●「カーゴスタッフとの裁判闘争の経過」

猪野玄生 氏 (生協関連・一般労働組合
カーゴスタッフ分会長)

カーゴスタッフはユーコープの二次受けであり、そこから業務委託で個人事業主として働いていました。2009年に静岡地裁に、雇用関係の確認等を求めて提訴しました。2013年の判決では、労働基準法上の労働者であると認められ、全面勝利となりました。その後、高裁において、会社との和解を含めた解決を目指しています。

●第57回浜松支所所員会議

3月27日(木) 於:西部地区労連

「ヤマハ職場の状況」

報告者: Sさん (ヤマハ労働者)

ヤマハは2013年に125周年を迎えました。中心的な製品は楽器で、エレクトーンが売り上げの半分を占めています。ピアノは高級品を除き、インドネシアで生産され、ヨーロッパやアメリカへ輸出されています。1970年代に1万人いた従業員は、現在約半分になっています。2014年4月から、ピアノ、管楽器、エレクトーンの生産部門が子会社化されます。今年の春闘は、ベア2,000円、一時金4.8ヶ月でした。コンプライアンス委員会への通報制度やメンタルヘルスへの取り組みは、熱心に行われています。「サービス残業はするな」と管理職が言っており、「一斉かえるデー」には、午後5時30分までに会社の門を出るようということなどで、管理職が職場を回って電気を消していきます。

*連絡先: 〒422-8062 静岡市駿河区稲川2-2-1 コハラサウスサイドビル7F

静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール roudouadv@wave.wbs.ne.jp ホームページ <http://www.geocities.jp/shizuokarouken/>